作法 6 魅力的な看板や装飾の活用

魅力的な看板や装飾を用い、設備は極力みせないようにすると、歴史的な雰囲気に調和します。

■現代の街なみの魅力を高めるための基本の作法

①景観形成基準の広告物の基準の遵守

<参考>景観形成基準:広告物の基準(要旨)

- ・広告物は極力集約化し、過大なものを設置せず、周辺に調和したものとします。
- ・屋上広告物や点滅する広告物、ネオン管の露出する広告物は、原則として設置しないものとします。
- ・色彩は3色以内とし、周辺に調和したものとします。 ただし、コーポレートカラーの使用はやむをえないものとします。
- ・突出広告物の取り付け位置の下端高さは、2.5m以上、出幅は0.9m以内とします。

【日除けテントの基準】

- ・色彩は、周辺建物との調和に配慮して、過度に目立つものを使用しないものとします。
- ・設置は、必要最小限の範囲とします。

【自動販売機の基準】

- ・自動販売機は、周囲の環境に配慮したデザインを使用するものとします。
- ・自動販売機の色彩は、建築物の基調色を意識したものとします。

②広告物の集約化と、節度ある大きさ、色彩の選択

広告物の種類に応じて、以下の表のように推奨します。

共通

・文字は極力少なくし、ロゴマークやピクトグラムを用い、店 舗の個性を視覚的に表現することを推奨します。



・広告物に地(背景)を設ける場合、文字と地(背景)が面と して一体的にみえるように、文字列の周囲に十分なスペース を取ることを推奨します。

> 街なみ作法 design code

悪い例



- 良い例
- ・箱型内照式は避け、切り文字または板型外照式を推 奨します。

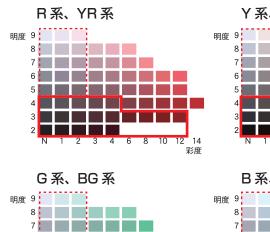
・自店舗以外の屋外広告物の掲示は避けます。

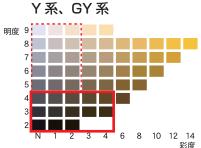


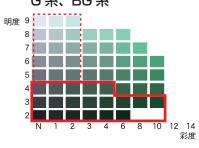
板型外照式の広告物

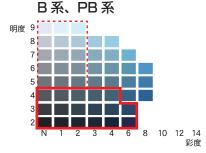
- ・広告物に地(背景)を設ける場合、色は原則1色とし、色彩は以下のマンセル値の範囲内(実線 ____)とすることを推奨します。
- ・地(背景)の色彩が以下のマンセル値の範囲() を外れる場合は、地(背景) の色彩は彩度2以下() の範囲) とすることを推奨します。

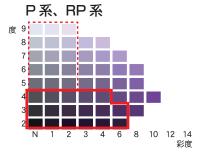
地(背景)の色彩の範囲











屋上 広告物

・景観形成基準を遵守し、原則設置しません。

突出 広告物

- |・景観形成基準を遵守し、出幅は 0.9m 以下、下端の高さは 2.5m 以上とします。
- ・3階以上の部分への設置を避けます。
- ・1壁面につき1ヶ所に集約化することを推奨します。

壁面

- ・切り文字の場合を除き、3階以上の部分への設置を避けることを推奨します。
- 広告物 ・広告物の面積は、各階の壁面の面積の 10% 以下 にすることを推奨します。
 - ・1店舗につき1ヶ所にすることを推奨します。

HIROSHIGE BLDG.

切り文字の壁面広告物の例 _

窓面 広告物 ・切り文字式のものを除き、原則設置を避けることを 推奨します。



切り文字式の窓面広告物の例

置広告

物

|地上設|・1敷地につき1ヶ所に集約化することを推奨します。

・高さ2.5m以下かつ幅2m以下とすることを推奨します。



集約化された地上設置広告物の例

テント

日除け → 文字を入れる場合は、文字高を 0.2m 以下とし、テント下端に記入することを 推奨します。

・窓全面を覆うことは避けます。

テント下端に文字を記入した例



③設備類の修景

設備は通りから見えない位置に置くか、格子などで修 景すると、街なみになじみます。







4建物と一体的にデザインされた 落ち着いた色彩の自動販売機

自動販売機は建物の中に組み込むか、落ち着いた 色彩にすると、街なみになじみます。





■和の街なみを意識した応用の作法

①木製の看板や垂幕、のれんなどの設置









木製の看板の事例

②和を想起する中彩度、中明度の色彩の活用

大 Ш 紺色

大 Ш

がいる藍色

大 山

大 Ш

臙脂色

ながら茶色